

報 時 震 驗

第 9 卷

中 央 氣 象 臺

驗震時報 第9卷

目次

口 繪

- 新竹・臺中兩州烈震に際して現はれた
地變の寫眞 (1—37) } (本多, 竹花撮影)
同上家屋の被害寫眞 (38—87)
同上鐵道橋梁等の被害寫眞 (88—95)
新竹・臺中兩州烈震記象 (1—4)
新竹・臺中兩州烈震地變圖
静岡強震地震計記象
静岡強震被害寫眞
静岡強震踏査報告參考圖
河内大和強震地震計記象
河内大和強震被害寫眞

論 文

- 昭和8年 宗谷海峽東方沖の深發地震に就て……杵 島 磨 (171—199)
12月5日
P'波の焦線附近に於ける觀測結果, 特に振幅の配布と
光學類似の現象に就て(概報)……………森 田 稔 (200—212)
昭和8年 アマゾン河上流深發地震の調査, 特に焦線附近
8月30日
に於ける觀測結果に就て……………森 田 稔 (213—230)
昭和6年 熊野灘深發地震に現はれたる東西日本の特異性
6月30日
……………森 田 稔 (231—251)
昭和10年 日本海中部の深發地震調査報告……竹 花 峰 夫 (253—264)
5月31日
大正14年 花蓮港沖地震の餘震と潮汐との關係……森 田 稔 (265—271)
6月14日

地震回数の日變化に就て	篠原 茂 (272—277)
不均質彈性體の内部及び表面に起る波動に就て	櫻庭 信一 (278—282)
鐵筋コンクリート塔の日射に依る傾き	竹田 建二 (283—286)
中央氣象臺風力塔の傾斜の日變化に就て	川瀬 二郎 (287—294)

報 告

昭和10年 4月21日 新竹・臺中兩州烈震概説	本多 弘吉 (1—2)
新竹・臺中兩州烈震の驗測結果	中央氣象臺地震掛 (3—9)
昭和10年4月20日・21日の天候狀態	中央氣象臺豫報掛 (10—11)
新竹・臺中兩州烈震に際し現はれた斷層・龜裂・山崩等	
.....	{ 本多 弘吉 (12—14) 竹花 峰夫
新竹・臺中兩州烈震の被害	{ 本多 弘吉 (15—27) 竹花 峰夫
新竹・臺中兩州烈震の餘震に就て	石川 高見 (29—36)
新竹・臺中兩州烈震に依る地震波速度の算出と地下300斤 に於ける速度の異常的變化	{ 驚坂 清信 (37—42) 三浦 武亞
臺灣に於ける過去の地震活動概況	{ 石川 高見 (43—63) 森田 稔 木澤 綏
昭和10年 7月11日 静岡強震驗測概要	中央氣象臺地震掛 (65—70)
静岡強震に依る被害	(70—71)
静岡強震地域踏査報告	{ 中央氣象臺・和達清夫, 本多弘吉 杵島 磨, 川瀬二郎 (72—84) 森田 稔 三島 支臺・川野昌美, 村瀬正一
静岡強震地域踏査報告	沼津測候所長 島 村 鼎 (84—85)
昭和11年 2月21日 河内大和強震概説	和達 清夫 (87—90)
河内大和強震驗測結果	{ 竹花 峰夫 (91—104) 森田 稔
河内大和強震の被害調査	(105—109)
河内大和強震と前後の地震	石川 高見 (110—122)
近畿地方の地震活動	驚坂 清信 (123—132)

大阪府下堅上村峠區の地之りの經過……………	川瀬二郎	(133—134)
河内大和強震地域踏査報告……………	{和達清夫 竹花峰夫	(135—143)
河内大和強震地域踏査報告……………	棚橋嘉市	(144—158)
河内大和強震地域踏査報告……………	{山下恭助 金家鎮	(159—162)
河内大和強震地域踏査報告總括論……………	和達清夫	(163—170)

附 錄

ウキーヘルト式地震計の倍率計算表……………	竹花峰夫	(295—300)
-----------------------	------	-----------

昭和 12 年 1 月 25 日 印刷

(非 賣 品)

昭和 12 年 1 月 30 日 發行

編 輯 兼
發 行 者

中 央 氣 象 臺

印 刷 者 島 連 太 郎
東 京 市 神 田 區 美 土 代 町 十 六 番 地

印 刷 所 三 秀 舍
東 京 市 神 田 區 美 土 代 町 十 六 番 地